

中世の唐津には日本国内だけでなく中国大陸や朝鮮半島からもたらされたものが集まり、遺物として市内の遺跡から出土します。このうち、かつて長崎県西彼杵（にしそのぎ）半島（はんとう）で製作されていた石鍋は、唐津の遺跡で数多く出土しています。



今回、この石鍋に焦点をあてた「石鍋と中世の唐津」展示会を開催します。

石鍋は滑石（かっせき）と呼ばれるやわらかい石を使って作られており、保温性があることから、食べ物の煮炊きに使われました。

展示会を通して、石鍋から見えてくる中世唐津の姿に迫ります。この機会にぜひご覧ください。

